4203	科目名	Л	1 2	英文表記		Applied Ph	veice			
大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪	目コード		4203		人女化		Applied 11	iysics		
対象学科/専攻コース				<u>-</u>					1	修正
日標項目			 /専攻コース		学年 🖞	め・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
回覧点系力学の基本を理解する。 ②熱力学・波動の基本を理解する。 ②熱力学・波動の基本を理解する。 ③電磁気学の基本を理解する。 ③電磁気学の基本を理解する。 ④原子・電子物性の基本を理解する。 ⑤物理学の全体的な構成を理解する。 ⑤物理学の全体的な構成を理解する。 ⑤物理学の全体的な構成を理解する。 ⑤学習到達度試験における理解度を見る ⑤学習到達度試験における理解度を見る ⑥学習到達度試験における理解度を見る ⑥学習到達度試験における理解度を見る ⑥学習到達度試験における理解度を見る ⑥学習到達度試験における理解度を見る ⑥、②素概 「情報通信システム工学 A・2 全ての工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 基礎物理学(学術図書出版社) 基礎物理学(学術図書出版社) 科書・教材	1	青報通信シ	ステム工学	科	4年	必	履修	2単位	講義	通年
日標及び 個方法 (②熱力学・波動の基本を理解する。 (15%) (③電磁気学の基本を理解する。 (3電磁気学に関する問題を出し理解度を見る (15%) (④原子・電子物性の基本を理解する。 (3で) (4の子・電子に関する問題を出し理解度を見る (4の子・電子に関する問題を出し理解度を見る (5つの理学の全体的な構成を理解する。 (5つの理解度を見る (40のの)) (本記事業 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について講義する。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について講義する。 (4の元子の工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について講義する。 (4の元子の工学の基礎・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・			目標	項目				平価方法及	びその割合	
日標及び ①電磁気学の基本を理解する。		①質点系2	力学の基本を	で理解する。		~ .				
及び 価方法		②熱力学	・波動の基本	マを理解する	5。			こ関する間	題を出し理解	解度を見る
⑤物理学の全体的な構成を理解する。 ⑤学習到達度試験における理解度を見る (20%) 高専目標 1 2 3 4 JABEEプログラム名称 情報通信システム工学 A-2 全ての工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 要業概度、方、履修の注意 基礎物理学(学術図書出版社) 科書・教材 投業計画			······							
⑤物理学の全体的な構成を理解する。 ⑤学習到達度試験における理解度を見る(20%) 高専目標 1 2 3 4 JABEEプログラム名称 情報通信システム工学 A-2 全ての工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 要業概要、方、履修の注意 基礎物理学(学術図書出版社) 科書・教材 接機物理学(学術図書出版社)		③電磁気 ⁵	学の基本を理	里解する。 エオキ 四 877-	トフ	(3)電	磁気学に関っ	する問題を	出し理解度を	を見る
高専 1 2 3 4 JABEEプログラム名称 情報通信システム工学	 八八	(金)別丁・自	直丁物性のa カ会体的おま	と 本 と 生 群 り	りる。 トス		サ・電子に	対りの问起	を出し理解! 理解度な見る	とど兄る ス (200/)
目標 ◎ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		①物理子(ノ王仲叩な作	専及で 生件 ?	9 る。 -	07	白判厓及武器	火にわける	生胜及を兄の	S (20%)
目標										
全ての工学の基礎となる各種物理法則とその応用例について学ぶ。物理で学んだ内容を基礎し、微積分やベクトル解析を用いたより高度な知識と応用技術について講義する。 下である。 「「「「「」」」」 「「」」 「」 「」」 「」」 「」」 「」 「」」 「」	高専		3 4					情報证	通信システム	工学
受業概要、方 、履修の注意 基礎物理学(学術図書出版社) 科書・ 教材 授業計画	目標)	0					. 11. 62.11.		I de la desemb
受業概 要、方 、履修 の注意 基礎物理学(学術図書出版社) 科書・ 教材										内容を基礎。
科書 - 教材 <u>授業計画</u>	受業概要、方、履修			74171 (2713)	7 - 3 - 7	,,,,,	194 C / 10 / 10 JA		m13420 7 000	
教材 	の注息									
		基礎物理等	学(学術図 書	書出版社)						
	科書 -	基礎物理等	学(学術図書		迎 娄		īdsī			

回次	授	業	項	目	時間		授	業	内	容			予	習	項	目
1	ガイ	ダンス、	物理の行	复習	2	į	物理で	学習し	た内容	の確認						
2		力学の	り基本		2	速度と	加速度、	、運動の	の法則	につい	て学ぶ					
3		力学の	り基本		2		笠凍口	運動は	つしい	て学ぶ						
4		力と	運動		2	加 仕事と 質	女物運動	力、振重	りについ	ヽて学る))					
5		力と	運動 動と剛体		2	仕事と	エネル	ギー、j	重動量	こつい	て学ぶ					
6]	回転運	動と剛体		2	質	(点の回]転運動	かについ	ヽて学え	ر. م					
7]	回転運	動と剛体 間		2	剛体	のつり	合い、真	重心に	ついて	学ぶ					
8		中	間		2											
9]		動と剛体		2	岡	体の回 波の]転運動	かについ	って学る	رخ د.					
10		波	動		2		波の	生質に	ついて	学ぶ						
11		波	動 動		2	烈と 熱力学の	音》	波につ	いて学	ぶ						
12		波	動		2		光	波につ	いて学	ぶ						
13		套			2	熱と	∠温度、	熱の移	動につ	いて学	ぶ					
14		秀	Ņ.		2	熱力学の)第一法	毕則、第	5二法員	川につい	ヽて学ぶ	<u> </u>				
15 期末		秀	Ņ.		2	オ	フルノー	の原理	につい	ヽて学ふ	> >					
期末		前期を	?! 		[2]											
16		電何の	に電場		2	クー	ロンの? ウスの法	去則、冒	≣場に~	ついて	学ぶ					
17		電荷	上電場		2	ガウ	クスの法	:則、電	位につ	いて学	:S					
18		電荷。	上電場 上磁場		2	キャ	パシター ゝの法則	一、誘電	≣体に′	ついて	学ぶ					
19		電流。	上磁場		2	オーノ	>の法則	川、直流	回路に	こついて	学ぶ					
20		電流。	ヒ磁場		2	磁石と磁 電	場、電流	焼のつ	くる磁場	易につい	って学ぶ					
21		電流。	上磁場		2	電	流に働	く電磁	力につ	いて学	S					
22		電流。	上磁場		2	磁性包	ⅳがある	場合の	磁場に	こついて	学ぶ					
23		中	間		2			\ 14		<u></u>						
24	<u> </u>	版動する	る電磁場	·	2		電磁	誘導に	ついて	学ぶ						
25	1	振動する	る電磁場	;	2		交流	流につ	いて学	ぶ						

26	振動する電磁場	2	マクスウェルの方程式と電磁波について学ぶ	
27	相対性理論	2	マイケルソンーモーリーの実験、相対性原理について	
28	相対性理論	2	相対性理論と力学について学ぶ	
29	原子物理学	2	原子の構造、光の粒子性について学ぶ	
30	原子物理学	2	電子の波動性、不確定性原理について学ぶ	
期末	後期末試験	[2]		
	学習時間合計	60	実時間	50
学修	単位における自学自習時間⊄	つ保証	(レポート頻度など)	
記入る	下要→この科目は履修形態の)ため	、この欄の記入は不要	

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)